

総合工学委員会・機械工学委員会合同計算科学シミュレーションと工学設計分科会  
小委員会の設置について

分科会等名：心と脳など新しい領域検討小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○総合工学委員会 機械工学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	本小委員会は21期からの継続である。計算科学シミュレーションは工学設計に利用され製造物の開発期間の大幅な短縮に寄与しているが、自動車設計で言えば、乗り心地、操縦安定性、音質など人間特性に関わるものへの適用は、未だ十分には得られていない。そこで、この分野への計算科学シミュレーションの適用の突破口を得るべく、計算科学の研究者に加えて、脳科学者、心理学者、認知科学者、ロボット学者などの参画を得て各分野の情報交換と議論を行い関連の知見の共有化を、21期、22期、23期で得た。今期はこれらの知見を基に、他国に先駆け、計算科学シミュレーションの援用により「心と脳」の課題を本質的により深く探るために必要な事項について議論し情報発信することを目指す。
4	審議事項	1. 計算科学専門の研究者に加えて、脳科学者、心理学者、認知科学者、ロボット学者などの参画 2. 「心と脳に関する」シミュレーションモデルの構築と教育のあり方などの議論と情報発信に係る審議に関すること
5	設置期間	平成30年1月25日～平成32年9月30日
6	備考	※事実上23期からの継続